

1978 (毎月1回) (発行)

4月号

(村の面積)
33,260km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和53年3月1日現在)

村の人口	1,836人
総人口	1,836人
男	942人
女	894人
出生	1人
死亡	1人
転入	2人
転出	16人
世帯数	549世帯

友だちができたよ

(今日から入園)



お知らせ

小松基地航空祭

航空自衛隊小松基地では、北陸三県の方々に広く小松基地及び飛行機を十二分に見ていただくため航空祭を開催し、曲技飛行を始め盛りたくさんの諸行事を予定して皆様方多数のご来場を心からお待ちいたしております。

一、日時

昭和五十三年六月四日(日)

午前九時～午後三時

二、場所

石川県小松市航空自衛隊

小松基地内

三、催しもの

(一) 曲技飛行(航空自衛隊曲技飛行チームブルーインパルによる)

(二) 各種飛行展示

(三) 空挺降下

(四) 陸、海、空自衛隊等各種航空機(約三十機)地上展示

(五) 航空機関連装備品等の展示

(六) 撮影会及び映写会

(七) 音楽隊及び女子鼓笛隊の演奏等

(八) 花自動車の運行

(九) 各種売店及び模擬店等

四、交通機関について

基地内に駐車場がありませんので自家用車による入場はできません。

昭和53年度 予算概要説明

村 長 加 藤 良 雄

昭和五十三年度の予算をご審議願うに際しまして、予算編成に対する基本的な考え方、並びに財政の状況を申し上げ、隔意なきご批判と、村政執行に対する特段のご協力とご理解を得たいと存じます

成、総額の32%に及ぶ国債発行による財源をもって、公共事業を推進し、景気のココ入れをすることは、ご承知のとおりであります。地方財政につきましても、国は本年度はおよそ三兆五百億円に及ぶ財源不足額が生じるものと見込んでおり、これを地方交付税特別会計の資金運用部からの借り入れ一兆五千億円、建設地方債一兆三千五百億円の増発等によって、財源の確保を図り、景気の回復に對する協力を求めています。また、行政の面におきましては国は三全総の計画を策定し、流域ごとの地域定住圏構想を打ち出し我が福井県におきましても、第三次長期構想に嶺北、嶺南の二大定住圏設定の方向を示唆いたしております。

この一般会計の増額は、主にゴミ処理施設の建設と国の公共事業推進に伴う、景気回復対策の連動によるものでありまして、社会資本整備に努め、起債額の増加という禍いを、転じて福となすべく積極的に公共投資を行わんとするものであります。その財源の見込みとしては、税収その他の財源を基調とし、起債を積極的活用し、冗費を努めて排除したものであります。本年度予算における投資的経費は、六億参百八拾八万八千円でありまして、災害復旧事業を除く普通建設事業は、前年度に比較して式億六千百参拾四万円の増であります。その主なるものを申し上げます。

第一に環境衛生整備のため、ごみ焼却処理施設建設費として、一億一千万円であります。第二には、交通通信網の整備のために、道路改良舗装費 五千拾万円 橋梁整備費 二千参百万円 その他、村道維持改修費に七百万円を計上し、生活道路の整備を進めるものであります。なお、雪国の宿命であります雪対策のために、一千参百八拾万円を除雪機械、老台の更新を図ると共に、現在保育している機械管理のため、重機等の格納庫を建設すべく八百五十万円を計上いたしました。

第三に、産業振興のため、貝皿外二ヶ所のは場整備費として、三千四百六拾二万七千円、池ヶ島農業用水、一千六百七拾参万六千円継続事業である農業近代化施設整備補助、一千二百二万五千円、その他、各地区からの要望に副うべく、農業施設の改良整備のため一千二百九拾参万円を計上して、農業の振興に資することといたしました。林業の振興につきましては、林道下谷線外九ヶ所(野々小屋線・鮭ヶ洞線・県単改良五ヶ所)の開設及び改良事業費として、六千五百六拾式万五千円、特殊林産物生産流通改善対策事業に、八百五十七千円。また、今年度より四ヶ年継続事業として、新たに始まる第二次林業構造改善事業に、三千九百九拾九万六千円を計上したのであります。なお又、本村の最大企業である中電鉱業所を含めて、商工業振興のため、制度融資の原資予託に、七千万円を予定いたしました。第四に、観光開発については、昨年度に引き続きパイロット事業費に第二年度分として、五千三百万円を予定し、集いの森、遊歩道スキー場ヒュッテの建設等を実施する所存であります。新規事業といたしましては、角野地区に国民休養地整備事業が、昭和五十六年までの四ヶ年継続事業として実施されることになり、

総事業費は、七億九千二百七拾万円でありまして、本年度分として、福井県施工にかかるもの七千五拾万円、村施工分一千六拾万円で、初年度計画の道路、歩道等の基盤事業、野営場、給排水施設の整備を予定しています。その他、蛇鏡、鶯ヶ鞍岳の遊歩道に五百九拾一万円を予定いたしますが、各地区からの要望により、河川整備事業費として、四千万円を計上しました。第六に、教育施設でありますが大納小学校の体育館の老朽化に伴う、床張り替工事に四百六拾万円大納地区体育館の建設に際し、その敷地提供のため失った、当該地区の屋外運動場の再現の要望に応え、中電鉱山グラウンドの整備費一千八百万円を計上いたしました。第七は災害復旧についてであります。農林業施設、公共土木施設併せて、四千三百六拾八万四千円を計上いたしました。これももって、過年度発生(五十一年・五十二年)災害復旧事業は、総て完了する運びとなりました。以上が新年度における主な施策の概要であります。次に、歳出に見合う財源といたしましては

◎村税 二億四千八百八拾壹万八千八百円
◎地方譲与税・自動車取得税 交付金 九百万円
(次ページへ続く)

(前ページより)

◎ 地方交付税 二億五千万円

◎ 国庫支出金 六千六百四拾万四千円

◎ 県支出金 一億八千八百四拾万一千円

◎ 村債

二億四千四百五拾一万円

その他特定財源一億一千一万三千円を見込み、不足額四千万円につきましては

◎ 財政調整基金 二千万円

◎ 繰越金 二千万円

を充当することとし、収支の均衡を図つたのであります。

最後に起債について申し上げたいと存じます。

本年度の起債額は、二億四千四百五拾万を予定し、年度末現債高は、九億四千万円に達する見込みであります。

また、公債費も一億円に近い額となつて参りましたが、このうちおよそ半額に相当する四千七百六十万円余については、地方交付税に上積みされております。

将来とも、辺地債のような財源措置のされる起債を選択的に活用し、健全財政の維持に努め、村づくりを進めて参りたい所存であります。

就任のごあいさつ

教育長 高坂昭男



最近における、政治、経済、社会の情勢は、とみにその厳しさを増し、今や内外ともに、重大な転換期を迎えております。教育界においても、これと同様に質的な転換を迫られており、新しい教育の方向を模索するときにあります。

生涯教育の理念から、学校教育、社会教育を含めた教育制度、内容、方法の改善が種々論議され、今日的な教育課題となっております。

こうした大事な時期にあたり、先般の教育委員会に於て、はからずも教育長に任命されましたことは、身に余る光栄と心から感謝いたしますと共に、その責務の重大さを痛感いたしておる次第であります。

きわめて浅学非才、微力でありますが、今日までお与え下さいました、教育委員としての経験をもとに、「情熱と誠意」を基調として

和泉村教育の振興に全力を傾注いたす所存でございます。

学校教育におきましては、人命尊重を第一に、智育、徳育、体育を推進し、ゆとりある教育の向上につとめ、社会教育については、社会教育の原点に立ち、過去の実績の基盤の上になつて、よりよい社会教育、社会体育の推進につとめ、和泉村教育の一段の向上発展に努力いたしたいと思ひます。

村民各位の尚一層のご指導、ご鞭撻とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

議員さん紹介

議員 工藤久雄

趣味について

私は今趣味はと問われて、さて何かと考えさせられます。子供の頃を考えますと想い出されることも数多くありますが、私にとつて和泉村は人生第二のふる里であり色々な点で環境の相違もあり、生活に追われ過ぎてきた今日、趣味の持たない自分を今更ながら恥しく思います。これと云つて趣味のない私ですが、残された人生自分

なりに過して行きたいと思ひます。

過疎対策について
前者の方々が色々な観点から記載されており、一年議員の私には勉強になった点多く、希望と抱負をテーマに記載することは至難であります。自分なりに考えてみたいと思ひます。

昨年は未来の希望に輝く和泉村総合計画が完成され、特定山村ハイロット事業を始め、国民休養地計画、家族旅行村の指定、姉妹都市の提携等、たゆまぬ努力が積み重ねられ恵まれた自然環境をいかし、生まれ変わろうとしている今日、住民の誰もが関心をもち心配されていることは、人口の減少ではないかと思ひます。

過疎対策とし融資の条例化、結婚祝金の制度化の施行と広範囲にわたる施策は、どの施策を一つ考えても過疎対策に通じ予算の伴うことであり、住民の定着には住宅青年層の流出防止には経済的所得の補償が要求されます。

そういう意味で農林業の振興にうたわれているように、地域の特性を生かし「農業・林業・漁業・商工の統合」の必要性と活用、又造林樹苗、特殊林山物の生産から加工販売等、国庫支出金、補助金制度を活用し、その成果を把握できる組織的な短期間で収益の回転

できる形成が必要であり、組織的体系の中で世帯主の所得の向上、後継者の育成は無論のこと、次男三男と独立できる経済的補償の場

が急務ではないでしょうか。限られた予算の中で施策一つ一つの施行に当つては、困難もあろうかと思ひますが、尚一層の努力が必要と思ひます。

さて地域住民として和泉村の人口過半数の人の生活をささえている一企業の存在する現況から、当面の実態を考え、過疎化の関連から一言ふれてみたいと思ひます。

私は中竜鉱山に入社以来二十一年間の今日、誰も、かつてない深刻な行く末、生活の不安を感じない者はない情勢に直面している。今までも、ドルショック、オイルショックと国際的、社会的情勢の波があつたと思ひますが、高度成長時代に、このような情勢に対応するため企業内の体質改善に努力されて来ましたが、しかし、今日の低成長時代の曲がり角に立つ非鉄金属鉱業は、需要の低迷不振により生産者価格の暴落に相次ぐ円高ドル安、不況というダブルパンチをうけ、国内鉱山労働者は、過去何

十年と住み馴れた鉱山を去り、職場を失うという危機に直面し、鉱山を抱える地域、市町村もその打撃を大きくうけ、鉱山存続を願う労働者、地方自治体共に取り組み、一日も早く不況回復と好転を願うものであります。

交通網について
時代の流れと共に地域の振興を図る施策の基本として進められてきた、国鉄越美線九頭竜湖駅の延長を始め、国道一五八号線の拡幅

(次ページへつづく)

山火事を防止しよう

山火事の原因は、たばこの火の不始末・たき火などによるものが

圧倒的に多く、いずれも不注意による失火となつています。たばこの火や、たき火の始末には充分注意して、山火事を防ぎましょう。

(前ページより)

改良舗装、雪崩防止の整備の実現に努力され昔をしのぶ面影もなく変わり、残す所、今日のマイカー貨物輸送の増加、観光開発、産業の流通基盤として北陸—中京方面を最短距離で結ぶ最も重要な役割を果すべき、越美南北線全通促進油坂隧道貫通の早期実現をめざす運動は元より、奥産道路改良、安全確保等の遅れを取りもどし、冬期間、九頭竜湖駅を中心とする住民の足の確保、又一五八号線、大野—朝日、中竜間は和泉村の住民にとって生活関連道路であり、雪害による人災の不幸の排除に万全をきす、安全対策、除雪対策を増強し地域の格差の是正に積極的に取り組み、通行不能による不便を一日も早く解消し、住み良い村作りと発展のために県当局の一層の理解をお願いいたします。

議員 田村繁吉

一、趣味
機会があることに多種多様になり「広く浅く」を信条に取組んできたつもりですが、現在のところスポーツが自分に一番適しているのではないかと思っています。中でもソフトボールに関しては、大袈裟でなく一生の趣味として続けていきたいと思っています。仕事や時間の関係で満足に練習も出来ないのですが、皆さんとともに県体優勝を目標に励んでいきたい

と思っています。

一、希望

今、和泉村に一番不足しているものは、なんといっても次代を、負う後継者の育成であると感じます。最近のユーターン現象などにより目立って若者が増えてきたことは本当に喜ばしいことですが、その彼らの中に明日の和泉村を育てて行くといった自覚が欠けているように感じられてなりません。私自身、議会に出る前のことを顧りみてみますと、はずかしいのですが、政治について特別な興味もなかったし、そういった場所も与えられてはいなかったように記憶します。四年間議会で、私なりに勉強させて頂いたことは、この上ない幸せであったと実感しています。しかし、基礎知識の無いということは悲しいもので、何事に関しても初体験を有無なくされ、満足に活動し得なかつたことに、今更ながら歯がゆい思いがしてなりません。このような私の体験からいっても政治に対しての関心は、早い時期から啓蒙されなければいけないのではないかと確信するのです。政治に参加する権利は全ての村民に与えられ、平等にその機会を与えられるべきと解します。そこで、村当局におかれても具体的にそういった機会と場所を提供されるべく検討されんことを切望する次第です。

一、抱負

前述に付随することですが、具

体的に村政を勉強する組織等ができるならば、現在和泉村が直面する種々の問題、また予定される計画などを、行政職の指導のもとにお互い活発な意見交換が出来たらば素晴らしいのではないかと考えます。

予定される計画のうち長期に及ぶものなどは格好の材料になるのではないのでしょうか。すなわち、国民休養地計画などは充分にその役割を果たしてくれるそうです。

観光立村を掲げる当村にとって都会からの観光客の誘致はもちろん大切な仕事に違いないのですが、それに伴う俗化傾向、また、自然の破壊などの諸問題も当然考えられます。和泉村に生まれ育った私達が手をこまねいて傍観者の立場にあつてはならないと思います。

その他諸々の問題を自分達によって研究勉強できたなら、こんなに幸せなことはないと思えてなりません。当然のことながら、自らも進んでこのような勉強会に参加できるような基礎を作るべく努力したいと思っています。

円高不況の昨今、村には直面する大問題があります。運命共同体ともいえる、村内唯一の企業の存続の危機です。この危機を乗り切つてこそ今迄に述べてきたことが生きてくるのではないのでしょうか。「鶏首となるも牛後となるなかれ」という言葉があります。この言葉の意味する、小さな団体でも独立心を持つということの意義の

昭和53年度緑化運動

《スローガン》

みどりで培う連帯と活力!!

四月二十一日を福井県の「みどりの日」と定め緑化意識の高揚を呼びかけ、緑化運動を推進し、森林資源の造成、水資源のかん養と生活環境の緑化をはかり郷土の発展に寄与しようとするものであります。

《主な行事》

一、春季緑化運動

自三月二十日

至五月十五日

融雪の春を迎えると同時に各種の植樹や手入れの徹底を呼びかける。

二、運動行事

三月二十二日

四月二十一日

緑の羽根、バッジ募金運動

三、みどりの週間

四月十五日 山に緑を

四月十六日 家庭に緑を

四月十七日 街路に緑を

四月十八日 公園に緑を

四月十九日 学校に緑を

四月二十日 職場に緑を

四月二十一日「みどりの日」

四、緑化樹木交付

四月十九日(水)

和泉村大納中学校に苗木が交付されます。

五、みどりの相談所の開設(無料)

自からの手で緑を増やし、緑を育てている人々に対し、その技術的相談に応じるため、相談所を開設する。

場所 和泉村役場

日時 四月二十日

十時～十五時まで

六、県緑化大会

四月二十一日PM 時より

名田庄村、和泉村みどりの少年隊参加

七、街頭普及運動

宣伝車で普及宣伝を呼びかける。

八、保育所マツ苗木交付

四月十八日

「県の木」クロ松苗木三本を交付する。

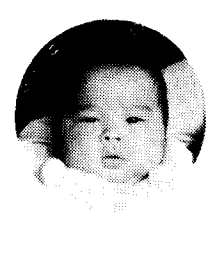
人のういき

▲赤ちゃん誕生

朝日 高見利治 英三の二男

▲死 亡

朝日 鷺見ミヨ子 四二才



大きさを今こそ、行政や議会は云うまでもなく、村民一丸となつて自覚し、乗り切るべく努力しようではありませんか。

ご入学・ご卒業のみなさんおめでとう

三月十七日、大納中学校を皮切りに各小中学校で卒業式が行われ、希望に胸ふくらむ卒業生たちは、在校生に見送られ、思い出多き学校を後にしました。

また、四月一日は各小中学校において入学式が行なわれました。

なお、和泉村管内中学校卒業生進路状況及び入園、入学者の方は次のとおりです。

朝日小学校	児童名	性別	地区名	保護者
古川晃	男	川合	渉	古川忠理
原田光男	男	朝日	明正	井上勝吾
三島憲雄	男	後野	哲一	永井崇
長島友治	男	後野	邦治	藤沢貴子
谷口早苗	女	伊月	幸一	田村貴弘
岡田敬子	女	朝日	文雄	吉本正和
古島佐登子	女	後野	忠夫	本田佐織
◎朝日保育所				
西村和也	男	朝日	満朗	原田泰子
富田幹大	男	朝日	八好	山崎紀子
石井美由紀	女	朝日	清史	木永照美
田中優子	女	朝日	武男	石川和子
中村和吉	男	朝日	仙吉	菅野一之
島光聰	男	下山	光義	高田健二
鶴飼昭仁	男	朝日	昭市	中山世志江
原田篤子	女	朝日	昭正	河元光春
新井重矢子	女	川合	基衛	村下幸代子
明石由香利	女	朝日	やぶ子	高田美和
西村直子	女	朝日	満朗	◎中電保育所
鶴飼明日香	女	朝日	昭市	東毅

追ゆかり	女	朝日	幸夫	京谷久美子	女	上大納	芳己
島田真希	女	朝日	芳文	坂井隆博	男	省三	
米倉宇治	男	朝日	功	原由美子	女	健次	
長嶋昌治	男	後野	邦治	長崎みち代	女	吉久	
山本一人	男	朝日	一郎	宮前美津留	女	見佐夫	
林加織	女	下山	久雄	鈴木昌彦	男	正男	
桜川敏弥	男	朝日	豊明	広瀬一栄	男	清一	
野尻一也	男	朝日	広	沢加津也	男	明	
田中和忠	男	朝日	輝夫	広瀬一美	女	裕一	
中村美穂	女	下山	登石エ門	十字真由美	女	正太郎	
鷺見隆幸	男	朝日	信雄	田村敦	男	伊佐男	
◎大納小学校				田辺清美	女	澄雄	
荒木美千恵	女	朝日	将	山田麻里子	女	一雄	
長井敦	男	朝日	信雄	尾崎一也	男	熙八郎	
工藤妙子	女	朝日	信彦	◎大納幼稚園			
氏家稔	男	朝日	英明	長井敦	男	熙八郎	
氏家孝	男	朝日	英明	荒木美千恵	女	信彦	
英明	男	朝日	英明	工藤妙子	女	英雄	
正男	男	朝日	正太郎	氏家稔	男	英明	
健次	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	
義則	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	
昭二	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	
治義	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	
宣夫	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	
和男	男	朝日	征一郎	氏家孝	男	英明	

四月一日付 教職員定期異動

四月一日付、本村の各小中学校教職員の異動があり、つぎのとおり着任されました。()内前任校◎朝日小学校

学校別進学・就職状況

合計	その他	就職者	進学者	進学別		学校別
				性別	性別	
4	0	0	4	男	朝日中学校	
4	0	0	4	女	朝日中学校	
8	0	0	8	計	朝日中学校	
13	0	3	10	男	大納中学校	
15	1	1	13	女	大納中学校	
28	1	4	23	計	大納中学校	

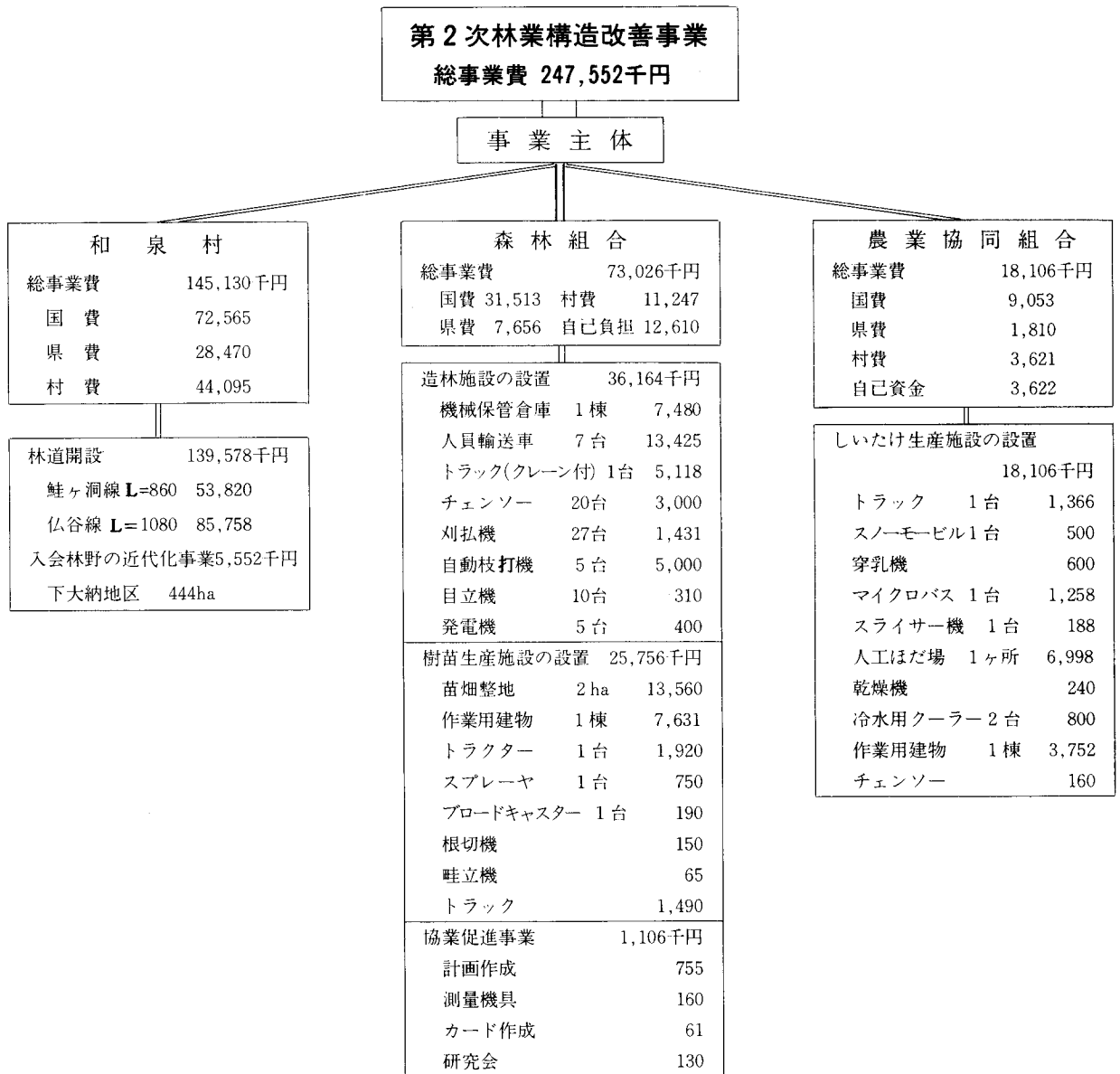
校長 田中正栄 (大納中)
 事務職 中村恵美子 (弥美小)
 ◎大納小学校
 校長 杉原精一 (大納中)
 教諭 武田知道 (大納中)
 " 中村睦美 (朝日中)
 " 中出均美 (新採用)
 養教 嶋谷洋子 ()
 事務職 米村弘子 ()
 ◎大納中学校
 校長 松本正治 (尚徳中)
 教頭 鈴木康雄 (朝日小)
 教諭 田島祥三 (春江小)
 " 佐々木進 (新採用)
 " 笠原則子 (新採用)
 事務職 中川統子 (新採用)
 ◎朝日中学校
 教諭 川端寛治 (尚徳中)
 派遣社教主事 川端寛治 (尚徳中より)
 派遣社教主事 福田徹郎 (大納中より)
 派遣社教主事 武田知道 (大納中へ転任)
 指導主事 鈴木康雄 (大納中へ転任)
 ◎教育委員会事務局
 指導主事 鈴木康雄 (大納中へ転任)
 指導主事 武田知道 (大納中へ転任)
 派遣社教主事 川端寛治 (尚徳中より)

長い間ありがとうございました
 石塚与兵治 (朝日小) 尚徳中へ
 小林一夫 (大納小) 蕨生小へ
 山田勝一郎 (大納小)
 勝山三室小へ
 河越伴子 (大納小) 東藤島小へ



第二次林業構造改善事業 がスタート!!

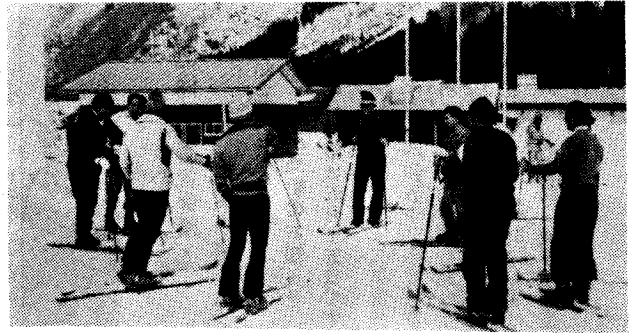
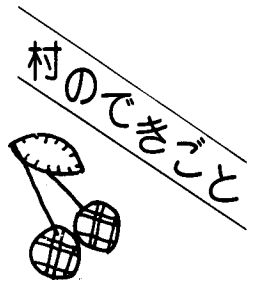
最近の社会経
済の変化は、め
まぐるしいもの
があり、森林の
公益的機能の増
進に対する要望
が増大する中で
山村人口の村外
流出により林業
労働の減少等に
より林業経営は
低迷を期してい
るのが現状であ
ります。
このような中
で、林業総生産
の増大、林業の
生産性の向上と
規模拡大とあわ
せて林業従事者
の所得の増大を
図ることを目的
として、本年度
より第二次林業
構造改善事業が
四ヶ年をもって
実施されます。





ひな祭り行われる

三月三日ひな祭りが朝日保育所において行なわれました。
この日の子は着物スタイルでひな人形のように美しく着かざり歌やお踊りなど日頃の練習成果を父兄に披露し、楽しい一日を過ごしました。



第一回 高志身体障害者 スキー教室開催

スキーを通じて「やればできる」という自立心の体得と冬季における健康増進を図り、明日への豊かな生活力を高めることを目的とした、第一回高志身体障害者スキー教室が、三月九日午前十時三十分から九頭竜スキー場において開催されました。
写真はスキー学校の指導員から指導を受ける障害者の方。

第一回 教育研究顕賞者 表彰される

和泉村の児童生徒および教職員で創意と工夫に満ちた教育活動推進に顕著な業績のあった個人、グループの方々には第一回教育研究顕賞が、去る三月九日役場講場において表彰されました。
なお、受賞された方の氏名は先月号に記載してあります。



東海北陸中学生スキー大会で 新屋喜美江選手四位に入賞

三月二十七・二十八日の両日富山県極楽坂スキー場において、第十回東海北陸中学生スキー大会が開催されました。
この大会は東海北陸の七県が参加し、男子大回転を始め七種目の競技が行なわれ、本村からは谷信弘選手、新屋喜美江選手が出場しました。
女子大回転競技に出場した新屋選手は、九頭竜スキー場で身につけた技術をいかし57秒79の好タイムで、福井県初の四位入賞の栄誉に輝いた。
また、男子大回転に出場した谷選手も十六位の好成績でした。

お知らせ

出水期における 増水に注意

今年も雪どけが始まり、出水期を迎えました。
雨が降れば雪どけと重なり、洪水となります。
鷲タムのゲートからの放流だけでなく、石徹白タムや山原タムも洪水のため、自然に越流します。そのときは危険ですから河原に降りないように注意して下さい。
電源開発株式会社
長野地区発電管理所

標準小作料の 改正について

標準小作料は三年ごとに改正され、その地区の耕作者の経営の安定を阻害しない水準で農家の人達が適正な小作料の目安として定められたものであります。算定基礎は、その地域の農業生産の実態と環境状況を考慮しながら定められたものであると共に、近年土地改良が進んでいますが、この小作料は土地改良前の農地を対象として設定してありますので申添えます。
標準小作料の額 一、二、〇〇〇円
地域 和泉村一円
地目 田

成人病・胃部・子宮ガン 検診結果まとめ

総合保健事業が開始されてから五ヶ年が経過しましたが、その間それぞれ検診を受けられ、中には思いもよらない病気が発見され早期治療で健康になられた方も多数おられます。

こうした、早期発見、早期治療を目的とした成人病検診、胃集団検診、子宮ガン検診を今後も続けて実施しますので、一人でも多く受診されますようお願いいたします。

なお、昭和五十二年度の検診結果は次のとおりです。

- ◎三才児健康診査
 - 受診者 一八八人
 - 異常者 一人
- ◎乳幼児健康診査
 - 受診者 一九九人
 - 異常者 〇人
- ◎成人病検診結果
 - 血圧受診者 四七五人
 - 正常 二六三人
 - 高血圧 一一三人
 - 境界域高血圧 七六人
 - 低血圧 二三人
- 検尿受診者 四五〇人
- 正常 三四五人
- 蛋白 三七人
- 糖 三一人
- ウロビリノーゲン 六〇人

- 受診者 二三六八人
- 要精密検診者 四一人
- 婦人がん検診結果
 - 受診者 一二四人
 - 精密検診者 一人



労働保険(労災保険・雇用保険)

昭和五十三年度 年度更新のお知らせ

申告と納付期限は五月十五日です
◎労働保険の昭和五十二年度確定保険料と昭和五十三年度概算保険料の申告、納付の時期になりました。
事業主のみなさまへ既にお届けしてある「労働保険概算、確定保険料申告書」は早めに提出しましょう。

国民年金のお知らせ

昭和53年4月から国民年金の保険料が1か月につき2,730円に改められます

国民年金は、昨年7月から老齢年金を始めとして、各種年金の額が大幅に上げられました。年金の給付は、保険料の積立金と国庫金でまかなわれていますので、年金給付が上げられたことにより、かなりの保険料上げが必要となりました。しかし、みなさんの負担が急に増えることを避けるため、今後、段階的に上げることになっています。

	現 在	53年4月から
一般加入者	月 2,200円	月 2,730円
付加年金加入者	月 2,600円	月 3,130円

保険料は必ず納めて
豊かな老後を築きましょう
福 井 県 ・ 和 泉 村

ない点がありましたら貸金台帳(建設事業は契約書、工事台帳)と印鑑をご持参のうえご相談下さい。

福井県商工労働部雇用保険課
福井労働基準局

各委員会の紹介

本村議会には三の常任委員会が総合的に見地に立つて審議し議会本



◎油坂隧道改良促進対策特別委員会 (六名)

◎ごみ処理施設建設特別委員会 (六名)

(昭和五十三年三月定例において設置)

来の機能を総合的、かつ合理的に運営を期するために、条例に基づき設置されており、各議員(十二名)はそれぞれの常任委員会に所属し議会活動をしている。
常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりです。
◎総務常任委員会(四人)
庶務、財政、消防、防犯、交通、通信、選挙、財産及び他の委員会に属しない事務
◎文教、厚生常任委員会(四人)
教育、民生、保健衛生及び労働に関する事務
◎産業、土木常任委員会(四人)
土木、農林水産、商工、観光
鉱業及び公害に関する事務
この常任委員会の他に、特別委員会が議会の議決により次のとおり設置されている。